

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書

※整理番号：

企画名
おもしろラボ（仮）家具制作ワークショップ
実施日
平成 28年 7月 16日（土）～ 平成 29年 3月 21日（火）
実施場所
C1棟 おもしろラボ
企画代表者の氏名、所属
氏名：津田康平 所属：工学研究科建築学専攻
構成員の氏名
M152015 原田慎平 M151816 山本健太郎 m153649 渡辺祥平 b130708 大村健人
指導的立場の教員氏名
石垣文（建築計画学研究室）
企画の目的及び内容
昨年度オープンした工学部のフリースペース「おもしろラボ」にて、必要なものの整備をメンバー自らの手によって作り上げていくことで、学生の主体で運営するという新しい場の使い方を自らで体現する。
来場者数
利用者数 150名程度
主催・後援団体（外部のコンテスト等に参加する場合は、そのコンテストの規模）
おもしろラボ企画・運営チーム
活動の内容（準備、広報活動、当日の様子等）
【掲示板製作】 おもしろラボの場所がわからないという意見が多く見られたため、メンバーで廊下側とデッキ側に看板の製作を行った。 当初はワークショップ形式で行う予定であったが、クオリティを担保するためにメンバーのみで行った。
【外部企画】 他の団体ともコラボレーションしながら、ものづくりを行うワークショップを定期的に主催した。広報は主にfacebook上で行い多数の外部からの多数の参加者も見えた。 日本の伝統技術である千鳥組の木工パズルを製作するワークショップでは、アメリカからの留学生も参加し、日本の木造技術に大きな関心を示していた。

（裏面に続く）

「学生のおもしろ企画・大学祭企画実施報告書 (裏面)

アンケートの結果（来場者にアンケートを実施した場合のみ）

アンケートは実施せず。

成果・課題

- おもしろラボの足りないものをメンバー自らの手で作り上げていくことで、学生主体で運営する場であるおもしろラボの特色を発信できた。
- 定期的にものづくりを行うワークショップを開催することで、普段は関わることない者通しがものづくりを通して交流することができた。
- メンバーが論文生、修論生であるということもあり、後期に活動をすることがあまりできなかった。メンバーの数をもっと増やす必要性を感じた。

実施風景（写真）

看板製作



ものづくりワークショップ



第1回



第2回

【提出方法】指定された期限までに本紙を作成の上、電子ファイルで提出してください。

E-mail でも受け付けます。

【提出先】工学部学生支援室 (kou-gaku-gakubu@office.hiroshima-u.ac.jp)